

# 中山間地域の現状と課題、新たな時代の傾向



## 現状・課題

### ● 県全体よりも早いスピードで人口減少

⇒ 地域の担い手不足の深刻化



急速な人口減少と少子高齢化

	県全体	中山間地域
2015～2045年の減少率	23%	39%
2045年の高齢化率	40%	46%

### ● 日常生活を支える交通サービス低下への懸念



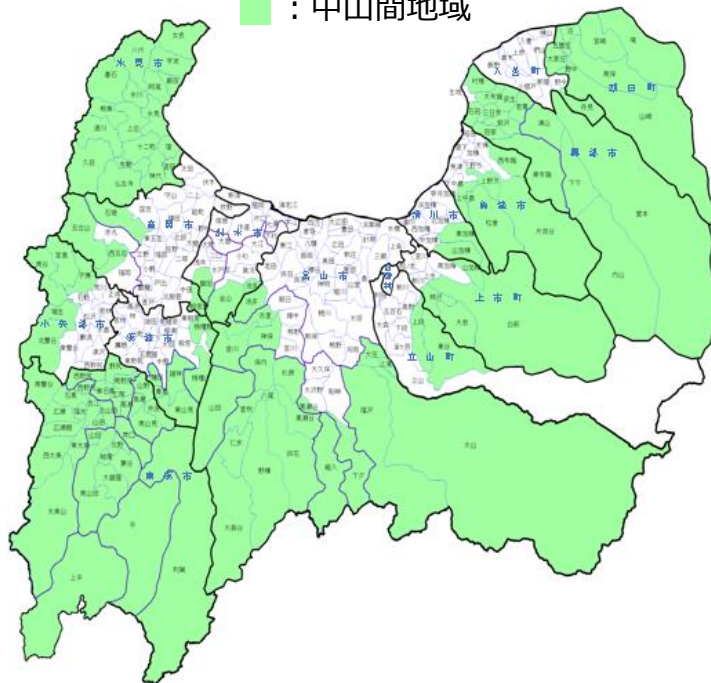
### ● 第1次・2次産業への従事割合が県全体よりも高い

### ● 鳥獣被害

など

## 県土の7割が中山間地域

■ : 中山間地域



## 新たな時代の傾向



### 新しい人の流れ

田園回帰、農山漁村地域への移住の関心の高まり



### 新たな仕事づくりの動き

多業、移住者による起業、継業 など



### 持続可能な集落づくり

地域運営組織の増加、住民主体でのまちづくり計画



### 新たな可能性

Society5.0」の取組の広がり、SDG s



### 国の動き等

「棚田地域振興法」、「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」等の制定、地方創生の動き

## ＜参考＞ 中山間地域の定義

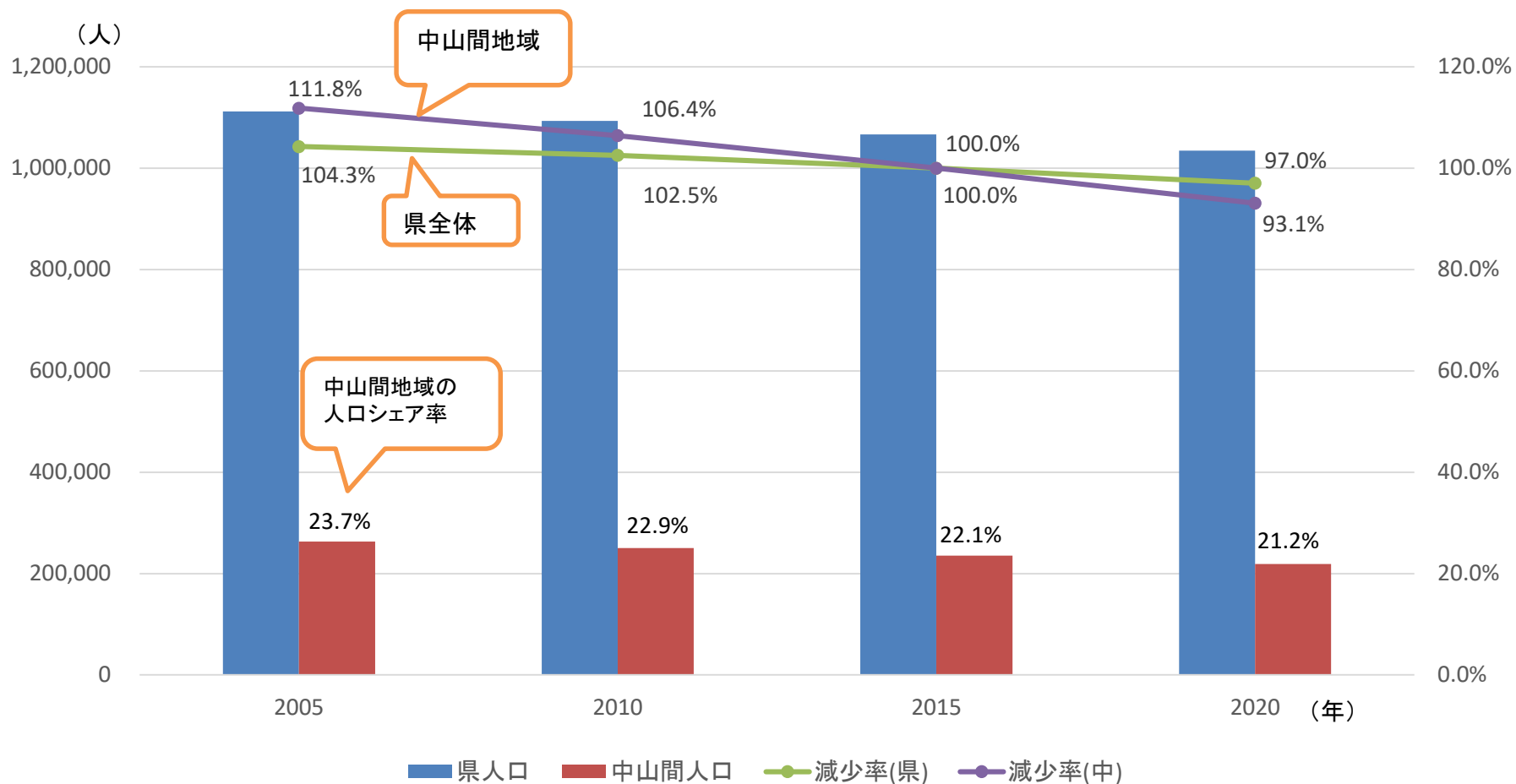
---

### 富山県中山間地域における持続可能な地域社会の形成に関する条例

#### 第2条(定義)

- (1)山村振興法(第7条第1項)に基づく振興山村地域
- (2)半島振興法(第2条第1項)に基づく半島振興対策実施地域
- (3)特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律(第2条第1項)に基づく特定農山村地域
- (4)過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(第2条第1項)に基づく過疎地域
- (5)棚田地域振興法(第7条第1項)に基づく指定棚田地域
- (6)これらに類する地域として知事が定める区域

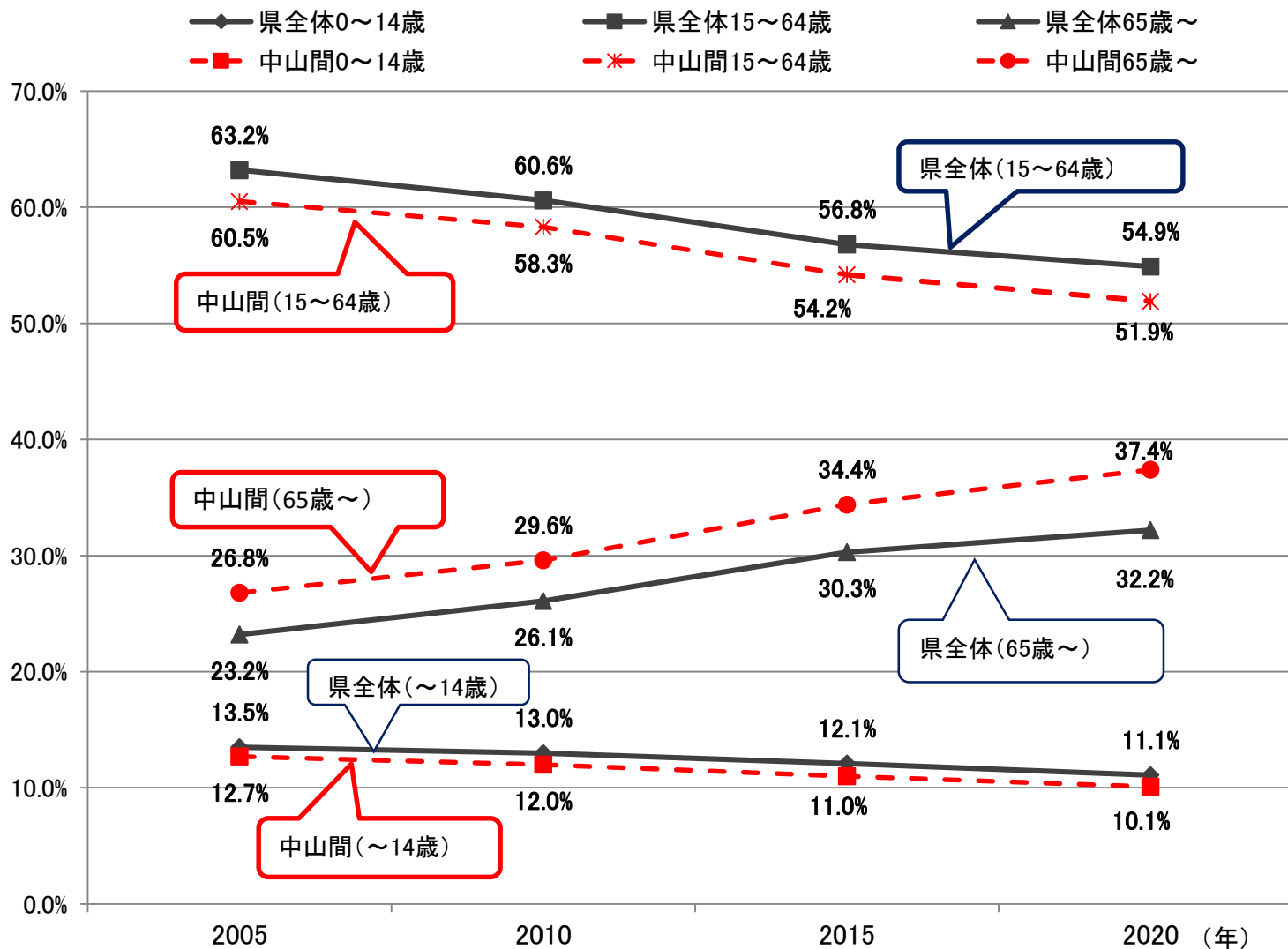
# 中山間地域の人口推移



資料:国勢調査(総務省)

※中山間地域の人口はR5年4月現在の中山間地域の範囲で算出

# 中山間地域の年齢別人口の推移

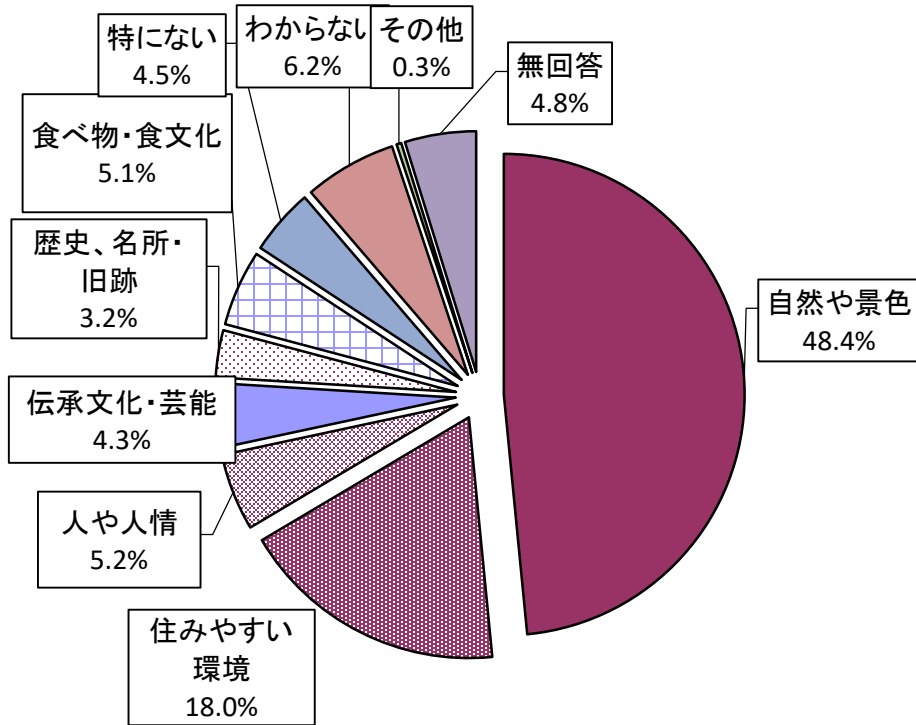


資料:国勢調査(総務省)

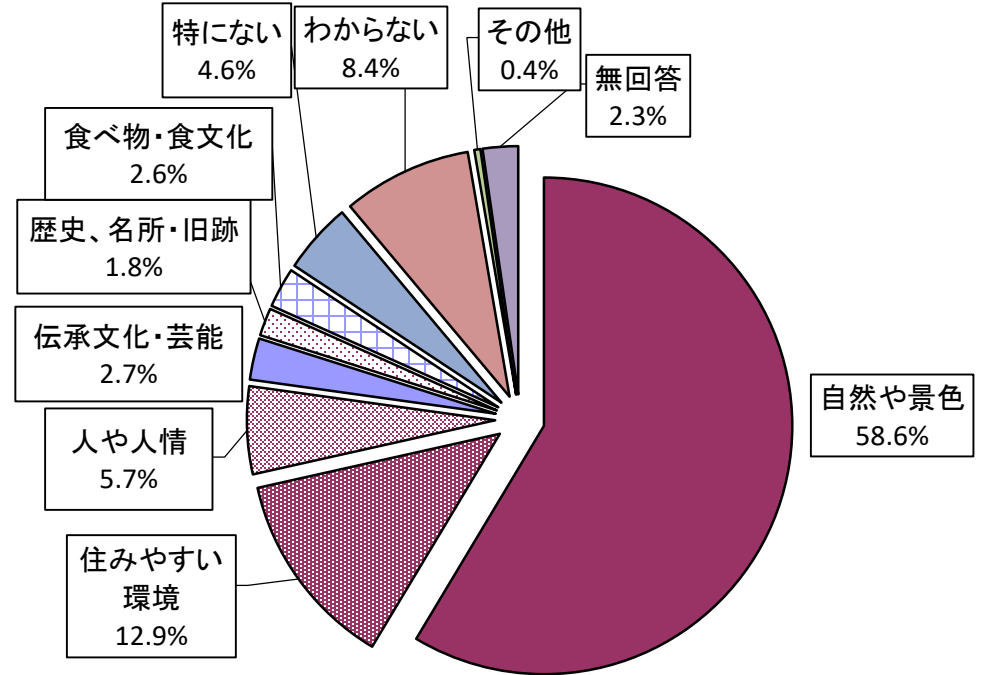
※中山間地域の人口はR5年4月現在の中山間地域の範囲で算出

# 令和5年度県政世論調査

## (1) 中山間地域の魅力について(単一回答)



<参考> 令和元年度県政世論調査

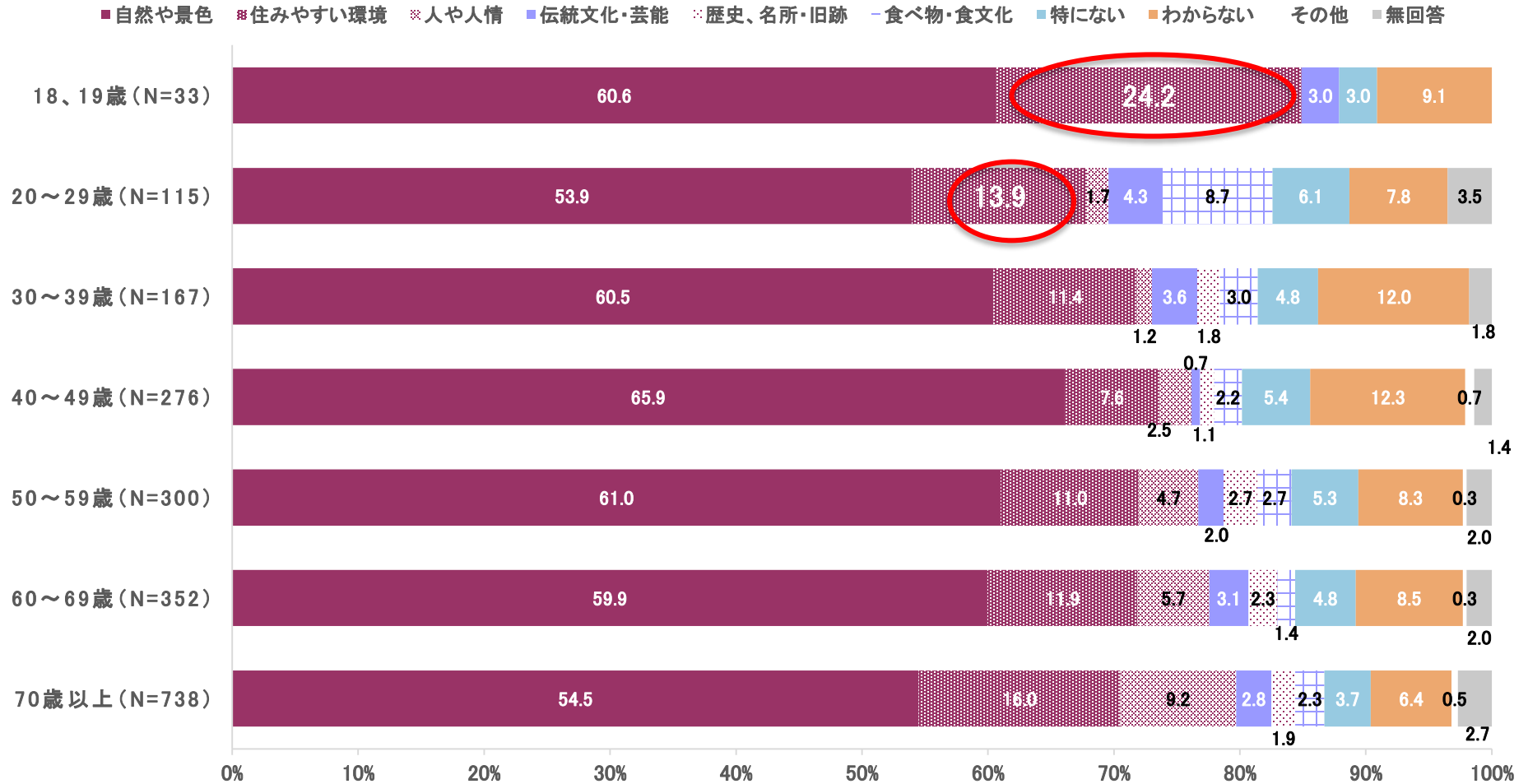


令和5年度県政世論調査

「自然や環境」 R1→R5 10.2ポイント増  
 「住みやすい環境」 R1→R5 5.1ポイント減

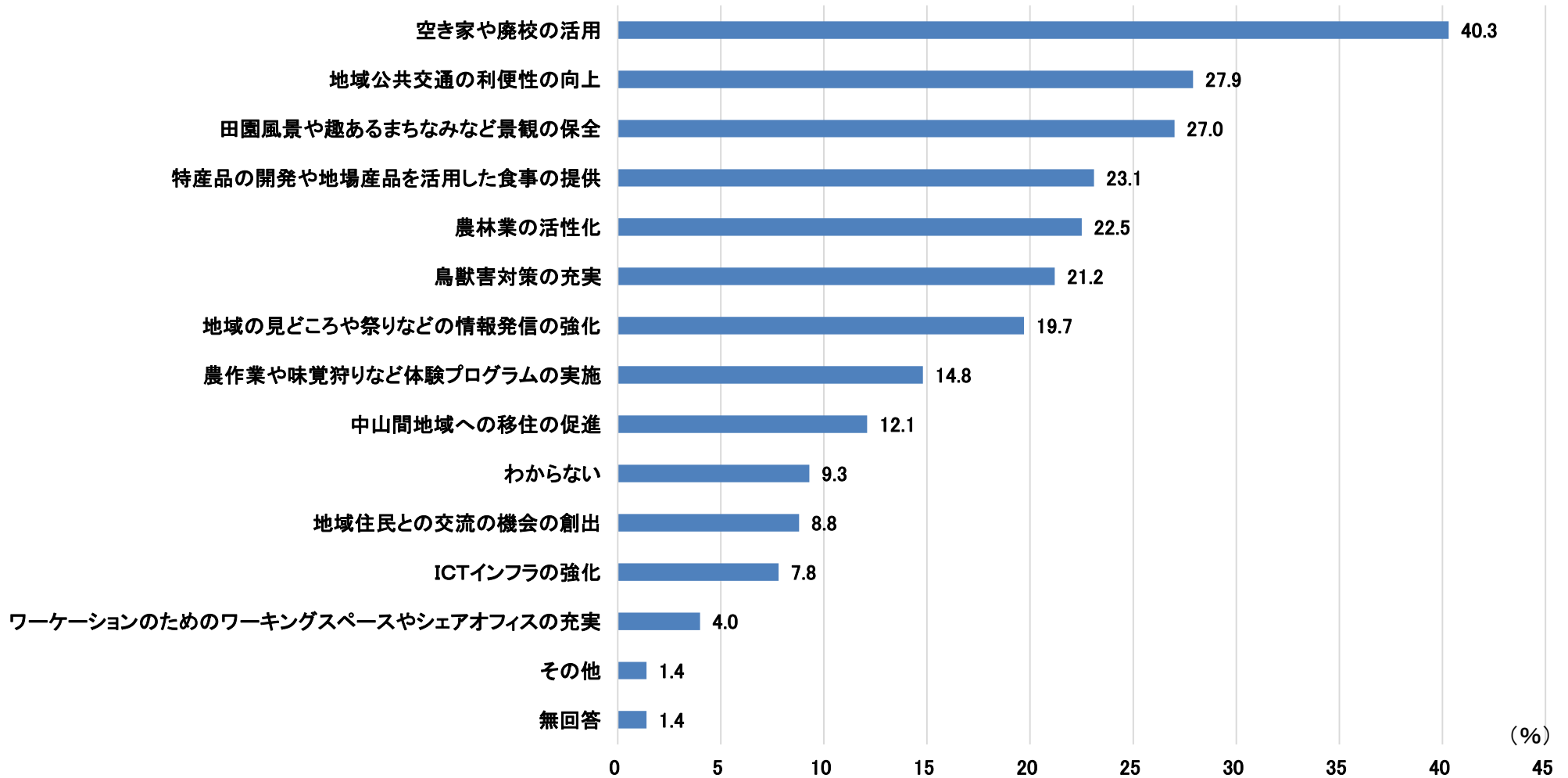
# 令和5年度県政世論調査

## (1)「中山間地域の魅力について」の設問における「住みやすい環境」と回答した方の年齢別の比較



# 令和5年度県政世論調査

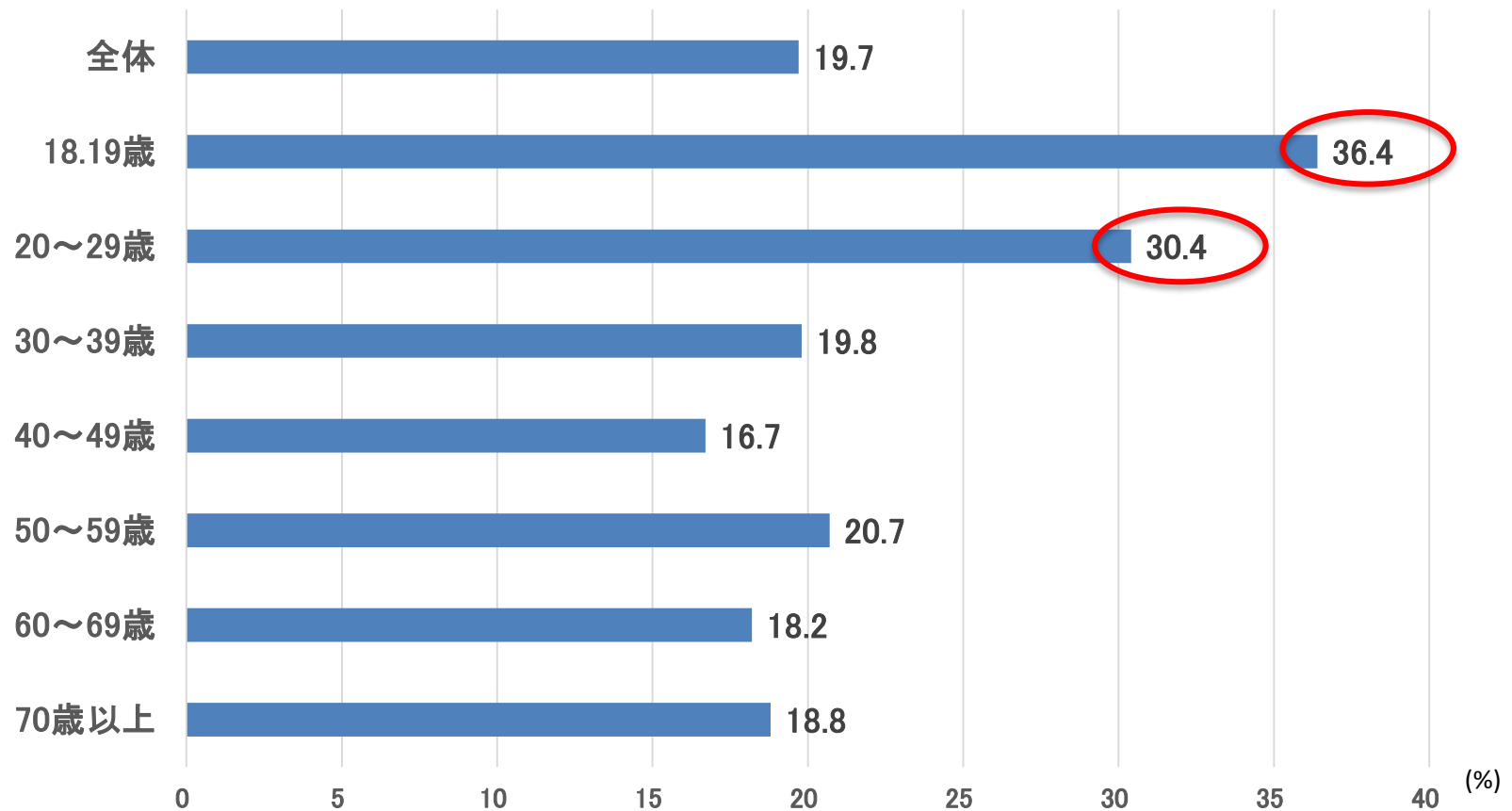
## (2) 中山間地域の魅力を向上するためにはどのような取り組みが必要か (複数回答:3つ以内)



# 令和5年度県政世論調査

(2)「中山間地域の魅力を向上するためにはどのような取組みが必要か」の設問における「地域の見どころや祭りなどの情報発信の強化」と回答した方の年齢別の比較

地域の見どころや祭りなどの情報発信の強化



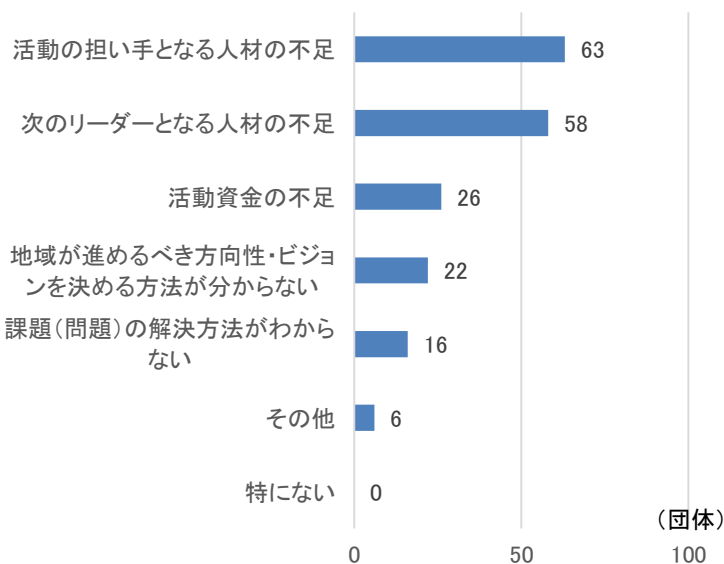


# 自治振興会・地域づくり協議会アンケート

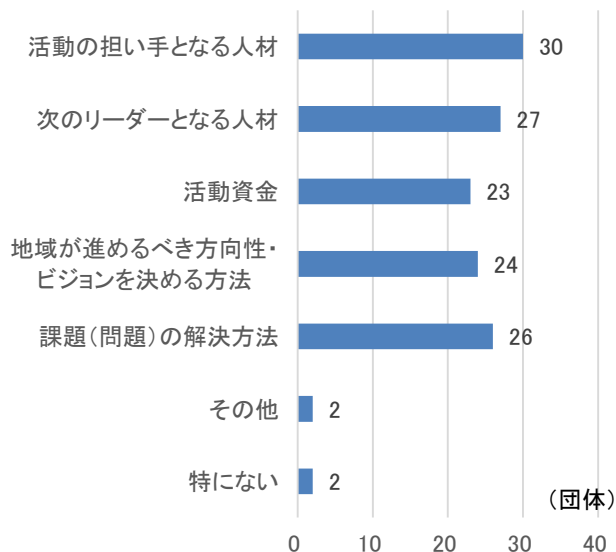
(R6.2月時点：134地区中73件回答)

(1) 貴団体が継続的に活動していくうえで ①課題(問題)と考えていること、②解決にあたって支援を期待するもの、③行政等から既に支援を受けているもの(あてはまるものすべて)

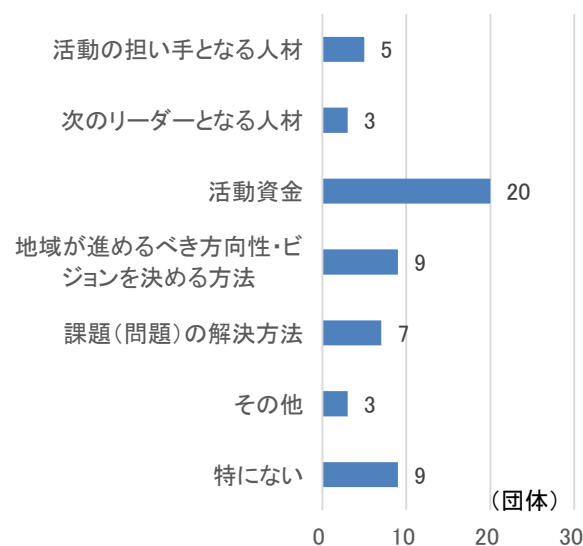
①課題(問題)として考えているもの



②課題(問題)の解決にあたって支援を期待するもの



③課題(問題)の解決にあたって既に支援を受けているもの

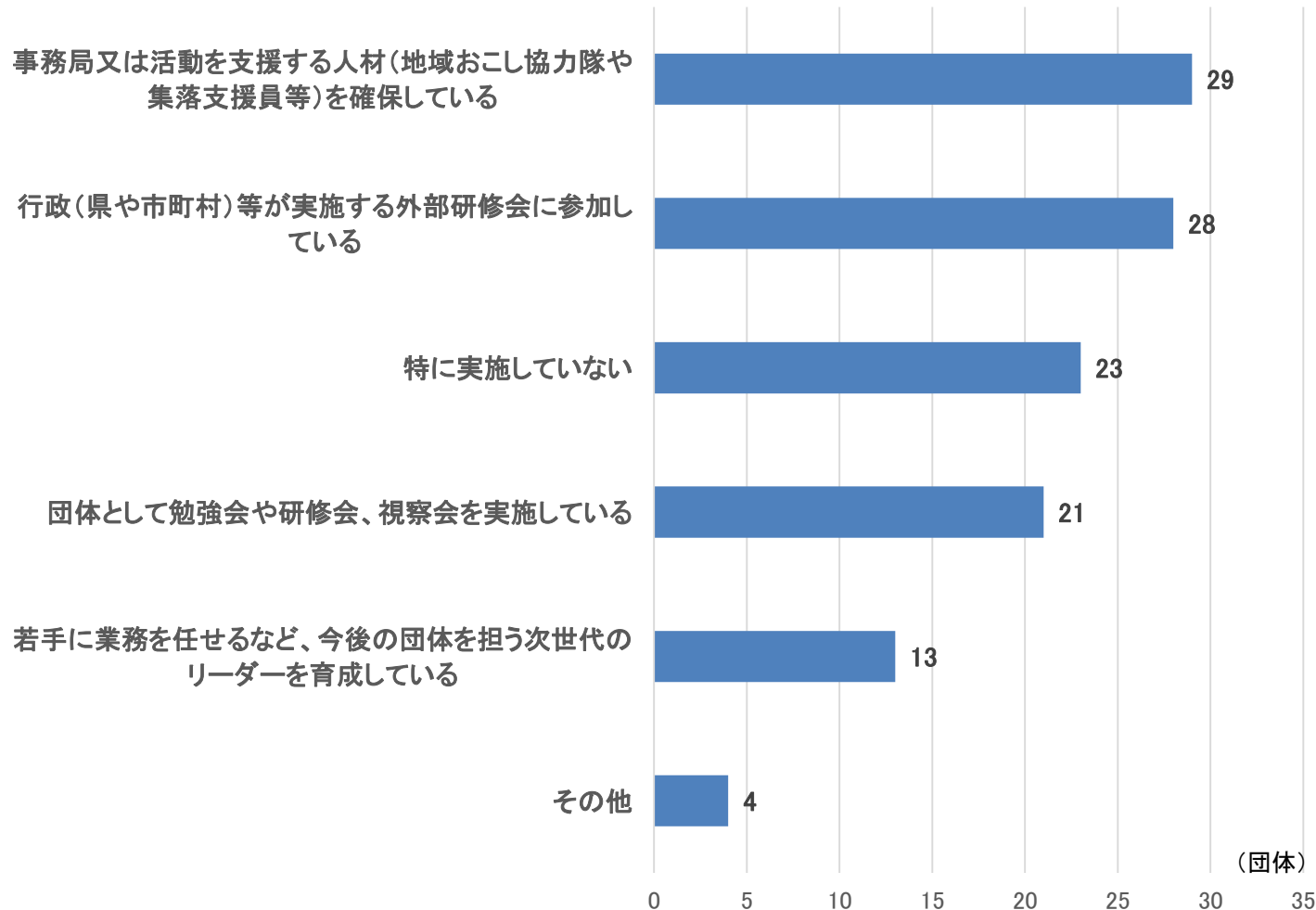


- ①課題 活動の担い手となる人材の不足: 63団体(86.3%)
- ②支援を期待 活動の担い手となる人材の不足: 30団体(41.1%)
- ③支援を受けている 活動資金: 20団体(27.4%)

# 自治振興会・地域づくり協議会アンケート

(R6.2月時点：134地区中73件回答)

## (2)現在実施している地域の活性化を図るための人材育成や確保の取組 (あてはまるものすべて)



事務局又は活動を支援する人材を確保している  
:29団体(39.7%)

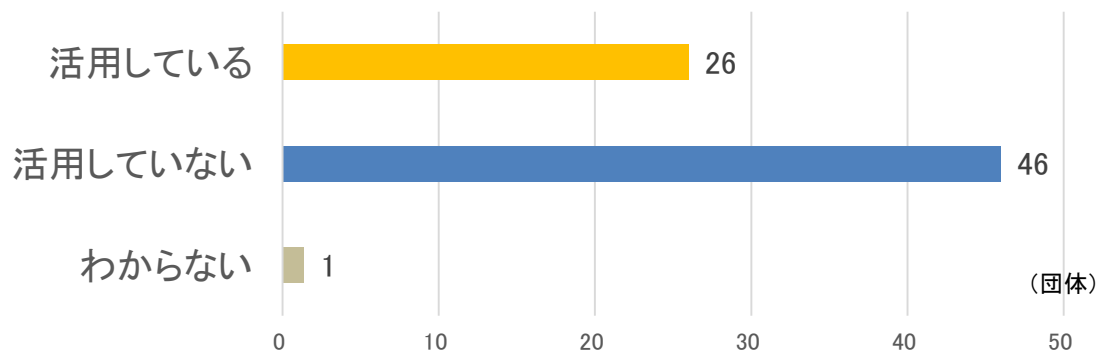
行政等が実施する外部研修会に参加している  
:28団体(38.4%)

# 自治振興会・地域づくり協議会アンケート

(R6.2月時点：134地区中73件回答)

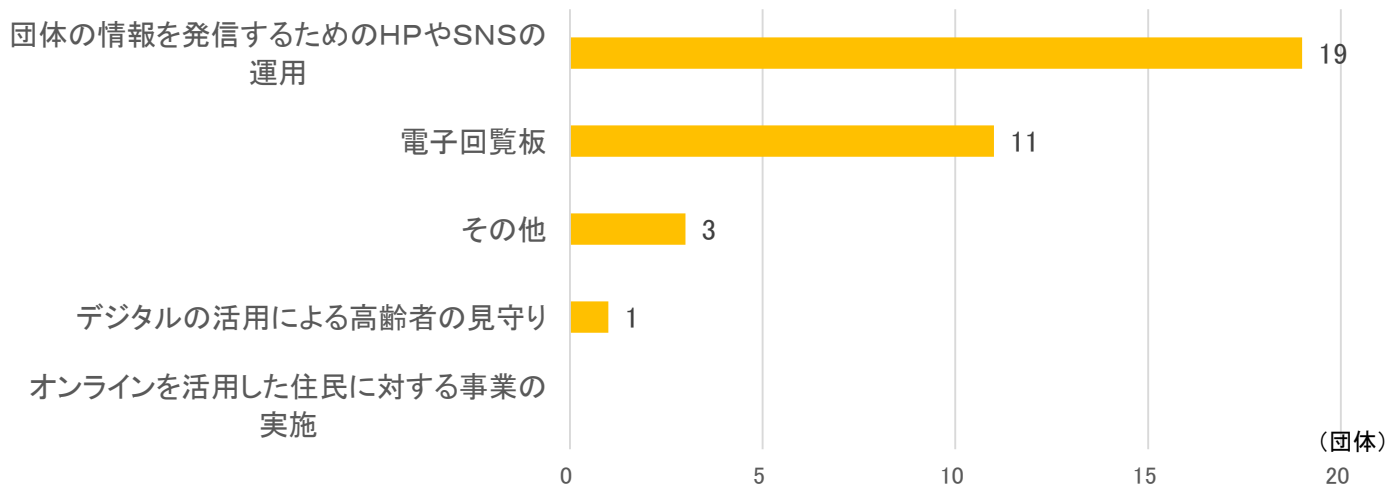
- (3)①デジタル技術を活用した活動の実施状況(あてはまるもの1つ)  
②活用している場合、具体的な取り組み(あてはまるものすべて)

①デジタル技術の活用状況



活用している: 26団体  
(35.6%)

②具体的な取り組み



HPやSNS: 19団体  
(73.1%)

電子回覧板: 11団体  
(42.3%)